

理 念



21 世紀は環境と食の世紀といわれています。農業は環境と食を守る旗手です。農業を通して、美しい郷土、きれいな日本、そして地球環境保全に努め、循環型社会形成のために貢献することが松山株式会社の使命です。

国蝶「おおむらさき」の生息している、美しい自然を起点として、地域、長野県、日本、地球規模で求められている環境対策に貢献します。

環境経営方針

■環境保全型農業を支援する機械類の開発をします。

資源の有効活用・環境負荷の軽減・低燃費・減肥料栽培体系など、環境にやさしい農業を支援する作業機を開発します。

■地球温暖化を防ぐための施策をおこないます。

電力、上水道、ガス、灯油の使用量を削減し、二酸化炭素の排出を抑制し、省エネルギーに努めます。

製品梱包を小さくし、輸送に関わる環境負荷を軽減します。

雨水の活用を図り、上水道の使用量を削減します。

■リサイクルや使用抑制を図り、限りある資源を大切に使います。

紙の分別をおこない、再資源化を図ります。

再生紙の使用を徹底します。

紙の使用量を削減します。

■調整池の水質を浄化し富栄養化を防ぎます。

■グリーン購入を進めます。

■広大な社有林の管理に努めます。

農薬の使用場所を限定し、社有林内では使いません。

間伐を計画的におこない、遊歩道を整備し里山を地域に開放します。

松くい虫の被害を環境にやさしい施策「樹幹注入」で防ぎ、後世に赤松林を残します。

「おおむらさき」の保全をおこない、観察会等を実施し地域に公開します。

■法を守ります。

環境関連法規や地域条例を遵守し、地域社会の環境保全に寄与します。

■化学物質を適正に管理します。

松山株式会社は、以上の方針に基づいて社員全員で活動します。

2018 年 1 月 1 日改訂

2004 年 11 月 15 日制定

松山株式会社

取締役社長 松山 信久

改訂履歴

- 2007年1月1日 ■環境保全型農業を支援する機械類の開発をします。・・・追加
■調整池の水質を浄化し富養化をふせぎます。・・・追加
- 2008年1月1日 ■グリーン購入を進めます。・・・追加
- 2011年1月1日 ■化学物質を適正に管理します。・・・追加
- 2012年1月1日 製品梱包を小さくし、輸送に関わる環境負荷を軽減します。・・・追加
- 2013年1月1日 制定者の社名から“本社工場”を削除した。
- 2015年1月1日 “古着・古毛布と集め、再利用します。”を削除した。
- 2018年1月1日 エコアクション 21 ガイドライン改訂に伴い、名称を変更。

事業の概要

① 事業者名および代表者名

松山株式会社 代表取締役社長 松山 信久

② 所在地

本 社 長野県上田市塩川 5155
物流センター 長野県上田市塩川 2949
北海道営業所 北海道岩見沢市栗沢町由良 194-5
旭川出張所 北海道旭川市永山北 1 条 8 丁目 32
帯広出張所 北海道河西郡芽室町東芽室北 1 線 18 番 10
東北営業所 宮城県大崎市古川清水 3 丁目石田 24 番 11
関東営業所 栃木県栃木市大平町横堀みずほ 5-3
長野営業所 長野県上田市塩川 2949
岡山営業所 岡山県津山市綾部 1764-2
九州営業所 熊本県宇土市松山町 1134-10
南九州出張所 宮崎県都城市甲斐元町 3389-1

③ 環境保全関係の責任者・担当者連絡先

責任者 総務部 小崎 浩
担当者 総務部総務課 岩瀬 吉輝
連絡先 TEL 0268-42-7500
FAX 0268-42-7520

④ 事業の内容

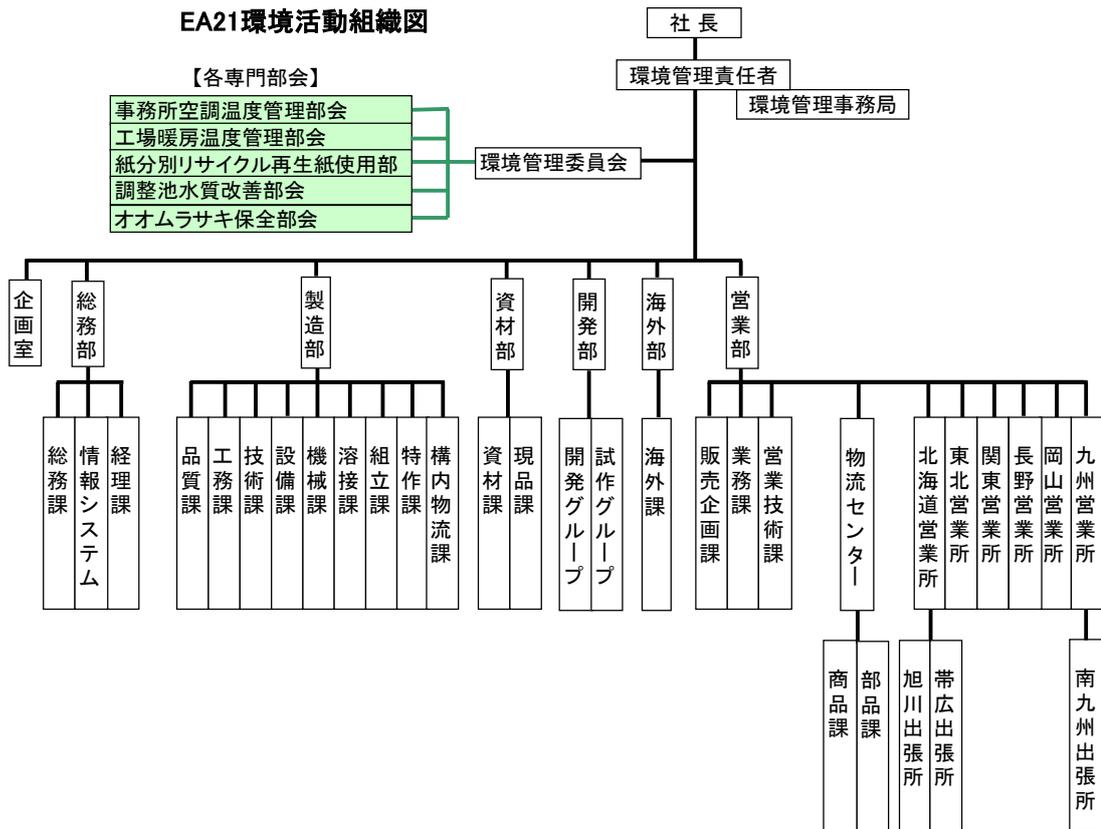
農業機械の開発、設計、製造、販売

⑤ 事業の規模

製品出荷額 196 億円
全従業員数 318 名
EA21 対象人数 318 名
本社工場延べ床面積 19,966 m²
北海道営業所 1,800 m²、旭川出張所 967 m²、帯広出張所 409 m²、
東北営業所 3,704 m²、関東営業所 4,143 m²、長野営業所・物流センター 4,391 m²、
岡山営業所 504 m²、九州営業所 3,943 m²、南九州出張所 896 m²

EA21 推進体制

EA21環境活動組織図



環境管理委員会

委員長	取締役社長 松山 信久
副委員長	総務部 小崎 浩

事務局	総務副部長 清水 信男
	総務課長補佐 森 史彦
	総務課 岩瀬 吉輝

統括	取締役製造部長 徳武 雅彦
総務部	取締役総務部長 大池 賢治
資材部	執行役員資材部長 田中 計宏
海外部	取締役海外部長 山下 祐二
営業部	執行役員営業部長 上野 功
開発部	取締役開発部長 村山 生夫
製造部	取締役製造部長 徳武 雅彦

環境管理委員会専門部会

部会名	事務所空調温度管理部会
部会長	総務課 小崎 浩
部会名	工場暖房温度管理部会
部会長	組立課長 田中 栄治
部会名	紙分別リサイクル再生紙使用部会
部会長	工務課係長 佐藤 友治

部会名	調整池水質改善部会
部会長	技術兼設備課長 北村 正彦
部会名	オオムラサキ保全部会
部会長	組立課係長補佐 山浦 淳一

活動対象範囲

- ① 対象組織 本社工場、全営業所、全出張所、物流センター（全組織）
 ② レポートの対象期間 2017年1月1日～2017年12月31日

実績（全組織）

環境負荷・実績

目的項目	実施項目	単位	2017年度 実績	2016年度 実績	2015年度 実績
二酸化炭素排出量 の削減	電気使用量	kwh	2,387,669	2,306,190	2,073,437
		前年比	3.5%	11.2%	-7.6%
		金額(円)	51,714,290	—	—
		前年比	—	—	—
	ガス使用量	t	303	318	279
		前年比	-4.7%	14%	-9.8%
		金額(円)	24,838,463	—	—
		前年比	—	—	—
	ガソリン使用量	ℓ	59,038	—	—
		前年比	—	—	—
		金額(円)	7,476,850	—	—
		前年比	—	—	—
	軽油使用量	ℓ	381,366	—	—
		前年比	—	—	—
		金額(円)	26,871,675	—	—
		前年比	—	—	—
灯油使用量	kℓ	107.4	97.6	81.08	
	前年比	10%	20.4%	-21%	
	金額(円)	8,687,169	—	—	
	前年比	—	—	—	
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	3,716,002	2,533,479	2,270,888
		前年比	46.7%	11.6%	-8.7%
廃棄物排出量の削減	コピー用紙使用量	kg	4922.6	5,526.7	4,878.6
		前年比	-10.9%	13.3%	-3.1%
	鉄滓回収量	t	485	553	477
		前年比	-12.3%	15.9%	-11%

総排水量の削減	上水道使用量	t	17,947	14,780	12,710
		前年比	21.4%	16.3%	-8%
		金額(円)	3,575,410	—	—
		前年比	—	—	—
化学物質(PRTR 制度対象物質)の適正管理	エチルベンゼン取扱量	kg	4,708	5,782	4,278
		前年比	-19%	35.1%	-8%
	キシレン取扱量	kg	6,085	7,525	7,659
		前年比	-19%	-1.7%	-8.6%
	トルエン取扱量	kg	1,121	1,293	1,108
		前年比	-13%	16.7%	-11%

※平成 29 年集計から各営業所、出張所のガソリン、軽油の集計を反映させたため、二酸化炭素排出量が大幅に増加した。

環境経営目標とその実績（本社工場）

当社は以下の通り記載の目標を掲げて環境経営活動に取り組んできました。

主要な環境経営目標と環境負荷・実績

目的項目	実施項目	単位	2017 年度		2016 年度	2015 年度
			目標	実績	実績	実績
二酸化炭素排出量の削減	電力(購入)使用量	kwh	2,041,617	2,111,773	2,041,617	1,810,995
		前年比	維持	3.4%	12.7%	-8.2%
		金額(円)	—	42,873,531	41,424,315	43,534,133
		前年比	—	3.5%	-4.9%	-5.6%
	ガス使用量	t	308	292	308	269
		前年比	維持	-5%	14.5%	-10%
		金額(円)	—	23,466,996	20,026,589	21,892,379
		前年比	—	17.2%	-8.5%	-38.6%
	灯油使用量	kℓ	72.1	82.1	74.7	58.1
		前年比	維持	10%	28.5%	-20.8%
		金額(円)	—	6,729,670	5,938,187	5,083,750
		前年比	—	13.3%	-0.4%	-14.8%
	ガソリン使用量	ℓ	33,395	31,425	34,076	31,869
		前年比	2% 削減	-7.8%	6.9%	-12%
		金額(円)	—	4,177,137	4,326,009	4,629,509
		前年比	—	-3.4%	-6.6%	-24%
軽油使用量	ℓ	45,155	38,701	46,076	41,447	
	前年比	2% 削減	-16%	11.2%	8.7%	
	金額(円)	—	3,085,295	4,342,096	4,950,324	
	前年比	—	-28.94%	-12.3%	-7.1%	
二酸化炭素排出量	(排出係数 0.518 kg-CO ₂ /Kwh: 中部電力 H28 年)	kg-CO ₂	—	2,485,847	2,251,589	1,978,162
		前年比	—	10.4%	13.8%	-9.3%
廃棄物排出量の削減	燃やすしかないゴミの焼却量*	kg	7,140	6,710	7,140	6,850
		前年比	維持	-6%	4.2%	0.6%
	紙(帳票)使用量	kg	140	210	140	280
		前年比	維持	50%	-50%	0%
	紙(コピー用紙)使用量	kg	3,238	2,964	3,238	2,729
		前年比	維持	-8.5%	18.7%	-4%
		金額(円)	—	409,874	425,942	334,945
		前年比	維持	-3.8%	27%	8%
	鉄粹回収量	t	553	485	553	477
		前年比	維持	-12.3%	15.9%	-11%

総排水量の削減	上水道使用量	t	12,549	16,057	12,549	10,899
		前年比	維持	28%	15.1%	-8%
		金額(円)	—	2,973,730	2,349,306	2,055,606
		前年比	—	26.6%	14.3%	-6.7%
化学物質 (PRTR 制度対象 物質)の適正管 理	エチルベンゼン取扱量	kg	5,782	4,708	5,782	4,278
		前年比	維持	-19%	35.1%	-8%
	キシレン取扱量	kg	7,525	6,085	7,525	7,659
		前年比	維持	-19%	-1.7%	-8.6%
	トルエン取扱量	kg	1,293	1,121	1,293	1,108
		前年比	維持	-13%	16.7%	-11%

*長野営業所、及び物流センターの排出量込

2017年環境経営活動計画の内容と取組結果の評価(本社工場)

推進項目	主要な活動計画の内容	取組み結果	担当部門	
環境保全型農業の支援	1. 資源の有効活用	携帯端末用アプリなど、作業状態のモニタリングが視覚的に行なえるシステムにより作業効率への研究をしている。	開発部	
	2. 廃棄物排出量の削減	製品を運ぶ鉄枠について出来る限り回収を行い、再利用に努めている。	営業部	
	3. 低燃費(CO ₂ 排出量削減)	グランドロータリーSKLは、新型耕耘爪J600G爪を開発し、耕耘部カバー・均平板を、通常のロータリーよりもすきこみ性能が向上するように、新たに最適位置を探り出して、配置し直すことで「圧倒的なすきこみ力」を実現した。これにより、法律で禁止されている稲わらの野焼きを回避できるようになった。また、耕耘部カバーをゴムにすることで、土の付着が軽減されトラクタの消費燃料の低減を実現した。 	開発部	
	4. 低燃費(CO ₂ 排出量削減)	パラソイラーNPSは、圃場全体を柔らかくするため、根域の拡大が図れ、品質の向上および収量アップが期待できる。深層の土を破碎はするが、その土を表面まで持ち上げて来ない構造を採用したことでトラクタの牽引抵抗を低減すると同時に、消費燃料の低減も実現した。 	開発部	
	5. 低燃費(CO ₂ 排出量削減)	大型トラクターに対応した、最大6.5mの大規模農家仕様のウイングハローWLZを製品化した。「パラレル折り」方式に加え、折り畳み時の機体幅をコンパクトにできる「クロス折り」仕様を6.5M幅用に開発した。これにより、道路幅の狭い本州でも広幅なウイングハローが普及し、作業時間短縮が全国的に実現した。 	開発部	
【評価】大型トラクターに対応し、作業負荷を低減した作業機の製品化により、高効率化を目指した。GPS、アプリなどのICTを利用し、効率向上などの研究を行って、環境保全型農業への貢献を目指している。				
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減(前年維持)	1. 省エネパトロールの実施	年5回実施し、不必要な電気の消灯、使用していない機械の電源オフ、整理整頓等の指導をした。	製造部
		2. デマンド管理	デマンド装置を設置し、夏季ピーク時間調整契約電力(通常時の80%)を越えそうな時は警報を鳴らし、決められた機器・電気類を停止した。	
		3. 電灯のLED化	事務所内及び工場の一部の照明をLEDにしている。記念館分館のトイレにセンサー式のLEDを設置している。	総務部
		4. 再生可能エネルギーの利用	太陽光発電システム(100kw)を導入し、本社・工場にて使用している。	総務部
		5. ライトダウンキャンペーンに参加	全国地球温暖化防止活動推進センターのキャンペーン'CO2削減/ライトダウンキャンペーン'に参加した。6月23日、7月7日をノー残業デーとし、6月25日は家庭でライトダウン(夜8時~10時)を行った。	
		【評価】前年比3.4%の増加。しかし、生産高は3.5%減少している。生産の自動化、管理システムの導入など、生産時において電気使用量は増加してしまっている。これらの適切な運用を考えていきたい。夏季ピーク時間調整契約電力(通常時の80%)を7~9月全て契約電力内で抑える事が出来た。		

ガス及び灯油使用量の削減(前年維持)	1. 温度管理に対する意識高揚	オリジナルポスター(4種類ずつ)を作成し、事務所に掲示を行い、社員にクールビズ・ウォームビズを呼びかけた。 	事務所空調温度 管理部会
	2. 送風機の活用	会議室、営業部、開発部にてエアコンの空気が循環するように送風機を併用した。	
	3. ハイブリットファンの導入	空調機に取り付け、事務所内エアコンによる温度差を緩和させ効率化する。開発部に7台導入。	
	4. ガス使用量の把握	事務所内エアコン用ガスの使用量を調べ、活動の基礎データにした。	
	【評価】ガス使用量5%の減少。事務所のGHPエアコン、生産時の塗装乾燥ともに適切に運用できている。		
工場暖房温度管理	1. 温度管理表の運用	工場内暖房使用基準について温度管理表に従い実施した。	工場暖房温度管理部会
	2. 温度データの把握	工場各職場の温度データを取り、活動の基礎データとした。	
	3. シートシャッターの活用	冬場はインターロック機構を設定し、手前のシャッターが閉じなければ奥のシャッターが開かない様にしている。	製造部
	【評価】灯油10%の増加。1月より厳しい寒さに見舞われたため、年始の使用量が増加した。また、3~5月の使用量が近年の中では多いので暖房を入れる基準を順守していきたい。		
ガソリン及び軽油の使用量削減(前年比2%削減)	1. 安全運転の推進	交通安全運動の呼びかけ、運転記録証明により該当者への指導、安全職場への表彰等啓発活動を行った。	総務部
	2. ハイブリット車両の導入	販売企画課、開発部にて各1台、東北営業所、九州営業所にてプリウスを各2台導入した。	総務部
	【評価】ガソリンが7.8%、軽油が16%減少した。今後もハイブリット車などの環境負荷の少ない車両の導入を進めていきたい。また、安全運動の呼びかけを行い、使用量削減を目指す。		
生産効率の向上	1. 組立ラインデータの収集と見える化	組立ラインの機器をネットワーク化し、タッチパネルディスプレイなどを導入。様々な情報の見える化、情報間の因果関係を明確化を行い減価低減とリードタイム短縮を定量的に評価できるようにした。	製造部
	2. ボルト閉め忘れ防止システムの導入	ボルトの閉め忘れ防止のために、QRコードより製品の情報を取得し締め付け本数を自動設定する電動インパクトを導入した。	製造部
	3. QRコードリーダーの導入	QRコードリーダーで製品の情報をPLCへ転送することにより、製品のデータ管理や記録が可能となった。	製造部
	4. 次期生産システムの導入	プロジェクトを立ち上げ、新しいシステムを構築して生産現場の効率化、原価システムの見直し、リードタイムの短縮、外注管理のレベルアップ、原価低減、物流システムの見直しなどを目指す。	総務部
	【評価】生産時のミスによるラインアウトを防いだり、生産効率向上で工場稼働時間を削減し、電気、燃料使用量削減や二酸化炭素排出抑制に期待したい。		

廃棄物の削減	燃やすしかな いゴミの削減 (前年維持)	1. 紙分別を行う	業者の基準に従い紙の分別をし、再生可能な物は業者の再生工場へ回して貰った。	サ 紙 部 イ 分 会 ク 別 ル リ
		2. ゴミゼロ運動に参加	社員27名にて周辺公共道路のゴミ拾いを行った。 (5月30日)	
	【評価】6%減少。分別を徹底している。今後、生産時のステッカーの台紙など生産時に関するゴミの削減を目指していきたい。			
	紙の効率的な使用	1. 必要部数のみの出力、裏紙の再利用	裏紙用プリンターと両面用プリンターを分けて、必要に応じた使い分けをしている。	各部所
2. 複合機の活用		印刷機能とファックスを兼ね備えた複合機を使用しており、ファックスはデータとして蓄積される為、必要な物のみを紙に印刷をしている。		
3. iPadの活用		営業所員にiPadを貸与し、一時的に製品カタログを見たいだけのお客様にはiPad上でお見せしている。	営業所	
【評価】重量で8.5%の減少。今後はペーパーレス化を進めていきたい。				
調整池富栄養化防止		1. 水質検査	定期的に実施している。	製造部
【評価】富栄養化は工場排水に原因がある場合が多いと言われている。水質検査の数値を分析し、富栄養化防止につなげていきたい。				
総排水量の削減	上水道量の削減(前年維持)	1. 雨水利用	1,000ℓタンク2ヶの雨水を利用して植栽の水やりに用いた。	総務部
		2. 漏水チェック	休日等社内に人がいない状況を見計らい、水道メーターが動いていないのを確認した。	
【評価】28%の増加。工場用温水器の弁が故障し漏水が起きたため9～12月の使用量が1.5倍となってしまった。漏水を迅速に発見できるように改善していく。				
グリーン購入の推進		1. エコマーク・再生材商品の購入推進	エコマーク商品・グリーン購入法適合商品を優先して購入している。	総務部
【評価】近年、購入対象商品の多くが環境に配慮した物となってきている。				
社有林管理		1. 伐採木の活用	伐採した松くい虫被害木を用いて、木工作家に椅子やテーブルを作成して貰っている。また状態の悪いものは暖房として薪ストーブで燃やした。	総務部
		2. 松枯れ防止樹幹注入施工	108本の松に薬剤を注入した。	
【評価】社有林の管理について識者から良い評価を頂いている。今後も里山として適度に手を入れていきたい。また、樹幹注入の効果が表れ松枯れが減ってきている。				

国蝶「オオムラサキ」の 生育環境保全 (乱舞を夢見て)	1. 肥培管理の実施	植栽したエノキ、キハダ、ブツレアに肥料を施した。	オ 全 部 会 オ オ ム ラ サ キ 保
	2. 羽化個体数の調査	7月の1ヶ月間敷地内にてオオムラサキの個体数調査を実施した。	
	3. 「エノキ」の実生の調査	社員有志にて社有林内の実生(みしょう)のエノキや残したいクスギ、コナラに目印のポールを立てた。併せてエノキに絡みついたツル草を刈り取った。(7月と9月に実施)	
	4. 観蝶会の実施	第12回オオムラサキ観蝶会を7月22日に実施をし、一般のお客様、社員、ボランティアを含め計177名が参加した。 	総 務 部
	5. 上田創造館主催おおむらさき観蝶会の協力	”おもしろ科学少年団”のイベントでオオムラサキ観察会が7月8日に催され社有林を会場として提供した。小学生30人と保護者の方が来社した。 	
	6. 社有林・遊歩道の看板を設置	来社されるお客様に社有林、遊歩道、オオムラサキの保護などの活動を紹介する看板を設置した。 	
【評価】観蝶会はオオムラサキの羽化が早く、オス、メスともに見ることができた。また、来場者数157名と多くの方に参加して頂けた。今年も上田創造館より会場提供のお願いがあった。今後も協力していきたい。			
環境上の緊急事態への 準備および対応	1. 複合防災訓練の実施	地震・火災時の避難訓練、消火訓練と環境負荷の災害を想定して防災訓練を10月13日実施した。環境負荷災害訓練は「灯油・オイル・廃油・薬品の漏洩」、「塗料庫からの出火」を想定し、対応方法の検討を行った。 	総 務 部
	2. 営業所・出張所の災害時電源確保の対応	災害時におけるコンピューター関係の電源確保の為、全ての営業所と出張所に非常用電源を設置している。	
	3. 営業所災害時対応備蓄物資の準備	東北営業所、関東営業所が地震の懸念される地域の為、2営業所について発生直後から3日間は営業所に対応できるよう物資を備蓄している。また、本社でも1日分の食料・水・簡易トイレ等を備蓄している。他営業所の対応を進めている。	
	4. AEDの設置	本社、長野営業所・物流センターにAEDを設置している。	
	5. 消火器の更新	規格の変更に対応して、12本更新をした。	
【評価】大地震などの災害に対する体制が構築されてきた。今後、消防機器の老朽化したものから随時更新していく。			

団体への支援	1. 小学生への環境活動の紹介	工場見学に訪れた小学生に対してオオムラサキの保護や社有林の管理等、環境保全活動について説明をした。また天気の良い日には遊歩道に案内をして里山体験をしてもらった。 	総務部
	2. ハナサカ軍手プロジェクトへの協賛	信州大学繊維学部内任意団体「ハナサカ軍手プロジェクト」へスポンサーとして支援している。	
	【評価】12校の小学校が来社して、合計378名の児童が工場見学を行った。今後も地元小学校への協力を行う。		
化学物質（PRTR制度対象物質）の適正管理（前年以下）	1. 化学物質の適正管理	化学物質は主に塗装関係に使用しているが、作業者の安全と無駄な使用が無い様に注意している。	製造部
	2. ディーゼルエンジン排気ガス浄化装置の導入	掘取機生産時、以前は調整と走行試験を行うステーションのディーゼルエンジンの排気ガスを工場内に排出しているため作業者の健康を害する恐れがあった。今は肺がんや喘息の原因となるNox、亜硫酸ガスを75%除去することができる排気ガス浄化装置を導入している。	
	【評価】エチルベンゼン19%、キシレン19%、トルエン13%の減少。今後、環境負荷の少ない塗料などへの代替なども模索したい。		

今年以降の目標（本社工場）

2018年度も引続き「環境保全型農業」を支援する作業機の開発を行います。

電力、上下水道、ガス・灯油、ガソリン・軽油使用量の削減を図り限りある資源を大切に使用します。「燃やすしかないゴミ」の焼却量を増やさないようにします。紙を大切に使用します。製品を置いている鉄枠について出来る限り回収を行い再利用に努めます。国蝶「オオムラサキ」の生息は自然環境と深く結びついています。社有林の手入れを学び、四季折々地域に公開できる里山として育成を図ります。

人の健康や生態系に有害な影響を及ぼすおそれのある化学物質について、適正に管理していることを定期的に確認します。

グリーン購入を進めます。

各削減目標は昨年度の目標と実績を考慮し次の通りとします。

2018年度以降の目標値(前年比) 年間(1～12月)

	2018年度	2019年度	2020年度
電力使用量 (kwh/年)	維持	維持	維持
ガス使用量 (t/年)	維持	維持	維持
灯油使用量 (kℓ/年)	維持	維持	維持
燃やすしかないゴミの焼却量 (kg/年)	維持	維持	維持
紙(帳票)使用量 (kg/年)	維持	維持	維持
紙(コピー用紙)使用量 (kg/年)	維持	維持	維持
上水道使用量 (t/年)	維持	維持	維持
化学物質使用量 エチルベンゼン(kg/年)	維持	維持	維持
キシレン(kg/年)	維持	維持	維持
トルエン(kg/年)	維持	維持	維持
グリーン購入	グリーン購入推進		
環境保全型農業の支援	環境保全型農業を支援する機械の研究、設計		
ガソリン使用量(ℓ/年)	2%減	2%減	2%減
軽油使用量(ℓ/年)	2%減	2%減	2%減
鉄枠回収量(t)	維持	維持	維持

2018年度の取組内容（本社工場）

2018年度は以下の取組内容にて活動を行います。

項目	取組内容
電力使用量	省エネパトロールの実施、節電対応、デマンド管理、太陽光発電の利用
ガス使用量	事務所温度管理、ウォームビズ・クールビズの実施
灯油使用量	工場温度管理、温度管理表の適時改善
燃やすしつかないゴミの焼却量	紙分別の徹底、分別実態の調査
紙（帳票）使用量	必要なもののみ出力
紙（コピー用紙）使用量	必要なもの（部数）のみ出力、裏紙の再利用、電子媒体の利用
上水道使用量	雨水利用、漏水のチェック
化学物質の使用量	塗料の加温化、適正管理
グリーン購入	購入推進
環境保全型農業の支援	環境保全型農業を支援する機械の研究、設計
ガソリン・軽油の使用量	安全運転の推進、車載型安全装置による意識改革
鉄枠回収量	積極的に回収を行う

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2017年度環境関連法規の順守評価

No	法規制等の名称	要求事項	順守評価
1	大気汚染防止法	VOC濃度測定	○
2	水質汚濁防止法	排水水の汚染状態の測定	○
3	浄化槽法	法定検査、点検、水質検査	○
4	廃棄物処理法	マニフェスト、契約書、保管基準、報告書の提出	○
5	PRTR法	排出量等の把握、届出	○
6	省エネルギー法	年間エネルギー量の算定	対象外
7	消防法	危険物保管、地下タンク点検	○
8	高圧ガス保安法	保安検査	○
9	自動車Nox・PM法	粒子状物質の排出基準、大阪府流入車規制	○
10	RoHS指令	有害10物質の使用禁止	○
11	毒物及び劇物取締法	業務上取扱者規定	○
12	道路交通法	安全運転、運転日報、積載量	○
13	道路法	荷崩れ防止の為の固定ベルト使用	○
14	道路運送車両法	定期点検整備	○
15	フロン排出抑制法	簡易点検の実施	○
16	労働安全衛生法	決められた管理者の選任	○

関係機関や地域周辺等から特に指摘はありませんでした。訴訟等も同様です。

2017年環境活動内容と評価及び今年以降の目標（営業所、出張所、物流センター）

- 北海道営業所
- 旭川出張所
- 帯広出張所

- 東北営業所

- 関東営業所

- 長野営業所、物流センター（同一建物）

- 岡山営業所

- 九州営業所
- 南九州出張所

以上の順で次頁より

平成29年度 北海道営業所 環境活動報告

作成日: 2月23日

作成者: 小玉

平29年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	30年目標	28年実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	4,084	3,882	4,380	4,567	4,717	2,828	3,035	2,994	2,942	3,037	3,866	4,146	44,478	40,000	37,991	117.1%
金額	153,593	148,711	164,356	139,468	181,980	123,759	127,900	126,012	125,196	127,176	152,217	164,098	1,734,466		1,519,033	114.2%
昨年使用実績	3,467	3,276	3,496	3,357	3,739	2,342	2,334	2,653	2,784	2,867	3,747	3,929	37,991			
水道(m³)		11		23		36		23		14		9	116	100	89	130.3%
金額		3,240		4,037		7,490		4,037		3,240		3,240	25,284		21,033	120.2%
昨年使用実績		4		21		25		14		14		11	89			
LPG(m³)	0.7	0.6	0.8	0.9	1.2	1.1	0.9	0.5	0.6	0.5	0.6	0.7	9.1	5.4	5.5	165.5%
金額	2,916	2,846	3,016	3,099	3,329	3,232	3,072	2,759	2,840	2,770	2,862	2,953	35,694		32,669	109.3%
昨年使用実績	0.3	0.3	0.3	0.6	0.7	0.6	0.3	0.3	0.3	0.3	0.6	0.9	5.5			
灯油(ℓ)	399	603	568	639	610					473	973	690	4,955	4,800	4,964	99.8%
金額	30,595	46,238	41,714	46,928	44,798					33,715	75,840	58,126	377,954		280,697	134.6%
昨年使用実績		760	1,400		465						1,318	1,021	4,964			
コピー用紙A3(枚)						5,000							5,000			
コピー用紙A4(枚)			5,000	5,000		10,000				5,000		5,000	30,000			
コピー用紙B4(枚)													0			
コピー用紙B5(枚)													0			
コピー用紙A5(枚)						5,000							5,000			
コピー用紙計(枚)	0	0	5,000	5,000	0	20,000	0	0	0	5,000	0	5,000	40,000		70,000	57.1%
昨年使用実績		10,000	15,000		10,000				5,000	10,000	10,000	10,000	70,000			
													二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	97,581	* 排出係数0.518(北海道電力H28年)	
													前年実績	53,524		

平成29年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	無駄な電気は消す。	全員が電気を消すという意識に欠けていた。反省
水道	食器、雑巾洗いは水をためて行う	全員が節水の意識が欠けていた。反省
LPG	ガス量、温度共に小にする	いつの間にか温度が大となっていた。反省
灯油	ストーブの温度を上げ過ぎない。不要時は消す	使用料は前年並み。灯油価格が高騰している。
コピー用紙	コピー用紙の裏面使用に徹する	裏面使用は徹底している。

次年度以降の目標

	平成30年	平成31年	平成32年	次年度以降取組内容
電気(kwh)	40,000	39,000	38,000	不要時は倉庫の電気を消す。昼休みは消灯する。
水道(m³)	100	90	90	洗車時、水を無駄にしない。
LPG(kg)	5.5	5.3	5.2	ガス量、温度共に小を維持する
灯油(ℓ)	4,800	4,700	4,600	ストーブの温度を上げ過ぎない。不要時は消す
コピー用紙(枚)	40,000	38,000	37,000	コピー用紙の裏面使用に徹する。

平成29年度

項目	単位	目標	29年実績	割合(%)
電気	kwh	35,000	44,478	27
水道	m³	88	116	32
LPG	m³	5.4	9.1	69
灯油	ℓ	4,800	4,955	3
コピー用紙	枚	60,000	40,000	-33

平成29年度 帯広 環境活動報告

作成日： 1月31日
作成者： 井上

平29年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	30年目標	28年実績	前年度比(%)	
電気(Kwh)	693	562	575	490	434	350	430	384	411	363	465	625	5,782	6,300	6,322	91.5%	
金額	33,171	28,954	29,638	26,964	25,389	22,744	25,453	23,881	24,731	23,085	26,389	31,729	322,128		323,866	99.5%	
昨年使用実績	797	593	662	497	476	391	445	454	432	392	564	619	6,322				
水道(m ³)	3	3	3	4	4	5	5	5	3	3	5	4	47	60	60	78.3%	
金額	2,024	2,024	2,024	2,024	2,024	2,024	2,024	2,024	2,024	2,024	2,024	2,024	24,288		34,418	70.6%	
昨年使用実績	4	6	5	5	8	6	6	6	3	3	4	4	60				
LPG(kg)	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2	0.3	0.1	0.1	0.3	0.1	0.2	2.4	3.8	4	60%	
金額	2,645	2,645	2,555	2,555	2,466	2,555	2,645	2,466	2,466	2,658	2,470	2,564	30,690		31,416	98%	
昨年使用実績	0.3	0.7	0.3	0.4	0.1	0.5	0.3	0.1	0.3	0.2	0.4	0.4	4				
灯油(ℓ)	269	249	215	104	115	0	0	0	0	81	106	232	1,371	1,500	1,644	83.4%	
金額	19,876	18,648	15,518	7,010	8,740					5,814	7,950	18,959	102,515		95,015	107.9%	
昨年使用実績	310	344	223	120	113						195	339	1,644				
コピー用紙A3(枚)											2,500		2,500				
コピー用紙A4(枚)		5,000					5,000						10,000		5,000		
コピー用紙B4(枚)													0				
コピー用紙B5(枚)													0				
コピー用紙A5(枚)													0		2,500		
コピー用紙計(枚)	0	5000	0	0	0	0	5000	0	0	0	2,500	0	12,500	7,500	7,500	166.7%	
昨年使用実績							7500						7,500				
													二酸化炭素排出量(kg-CO₂)		20,141	* 排出係数0.518(北海道電力H28年)	
													前年実績		8,896		

平成29年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	こまめに不要電気を消す(夏場のエアコン設定28℃に する)退社時玄関灯の消灯	こまめに電気を消し退社時玄関灯も消 灯しました。
水道	貯めすぎを心掛ける	貯めすぎを実行しました。
LPG	使用時のみの点火	使用時のみの点火を心がけました。
灯油	厚着を心がけ、玄関をこまめに閉めて外気を遮断	厚着を心がけ、玄関をこまめに閉めて 外気を遮断しました。
コピー用紙	裏紙再利用をする。	研修会資料作成により使用枚数が増 えました。裏紙再利用は行っておりま す。

次年度以降の目標

	平成30年	平成31年	平成32年	次年度以降取組内容
電気(kwh)	6,300	6,300	6,300	不要電気の消灯(夏場のエアコン設定28℃にする)
水道(m ³)	60	60	60	貯めすぎを心掛ける
LPG(kg)	3.8	3.5	3.5	使用時のみの点火
灯油(ℓ)	1,500	1,500	1,500	厚着を心がける、出入り玄関をこまめに閉める
コピー用紙(枚)	7,500	7,500	7,500	裏紙再利用の徹底

平成29年度

項目	単位	目標	29年実績	割合(%)
電気	kwh	6,300	5,782	-8
水道	m ³	60	47	-22
LPG	kg	3.8	2.4	-37
灯油	ℓ	1,500	1,371	-9
コピー用紙	枚	7,500	0	-100

平成29年度 東北営業所 環境活動報告

作成日 2018/11/8
作成者 高橋ひとみ

平成29年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	29年目標	28年実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	3,965	4,504	4,475	5,843	5,365	4,261	3,457	3,406	3,026	3,129	3,813	4,516	49,760	49,000	46,820	106
金額	107,753	116,841	117,743	136,851	132,933	115,260	102,825	105,222	98,552	99,543	107,882	119,277	1,360,682	(4%削減)	1,296,927	105
昨年使用実績	3,896	4,285	4,146	4,969	5,191	3,882	3,317	3,410	3,063	2,821	3,317	4,523	46,820			
水道(m ³)	15	17	12	15	24	19	17	14	18	16	17	19	203	250	242	84
金額	5,251	5,625	4,690	5,251	7,206	5,999	5,625	5,064	5,812	5,438	5,625	5,999	67,585	(2%削減)	76,782	88
昨年使用実績	14	22	19	16	25	36	26	39	16	18	19	15	265			
LPG(m ³ or kg選択)	238	318	341	274	108	61	208	224	144	48	134	315	2,412	2,060	2,106	115
金額	60,922	86,752	93,753	73,388	28,495	16,809	50,821	55,671	39,276	15,426	41,380	95,092	657,785	(2%削減)	495,146	133
昨年使用実績	161	305	270	186	97	27	90	212	235	52	156	316	2,107			
灯油(ℓ)	434	428	535	0	0	0	0	0	0	307		513	2,217	2,090	2,134	104
金額	34,653	34,668	43,335	0	0	0	0	0	0	24,867		44,877	182,400	(2%削減)	155,443	117
昨年使用実績	485	408	268	0	0	0	0	0	183	0	265	525	2,134			
コピー用紙計(kg)													0	50,000	55,000	0
コピー用紙A3(枚)													0	(前年維持)	0	-
コピー用紙A4(枚)	15,000			15,000			20,000					5,000	55,000		55,000	100
コピー用紙B4(枚)													0		0	-
コピー用紙B5(枚)													0		0	-
コピー用紙計(枚)	15,000	0	0	15,000	0	0	20,000	0	0	0	0	5,000	55,000	50,000	55,000	100
昨年使用実績	0	0	15,000	0	15,000	0	20,000	0	0	0	5,000	0	55,000			
二酸化炭素排出量(kg-CO₂)													287,143		47,889	600

*排出係数: 0.518 (東北電力 平成28年)

平成29年度 取組んだ内容 及び 評価

	取組んだ内容	評価
電気	始業前・休憩時間及び不在場所の消灯 長時間離席時の電気機器の電源OFF ノーマル残業デーの実施	目標未達成 。今年は残業後電気の消し忘れが何度かありました。来年はLPG同様、オフシーズンの休出・残業を極力減らし、スイッチオフは人任せにせず自ら責任を持って行うよう取り組みます。
水道	水道蛇口の漏水確認 洗車時節水を心がける	目標達成 今年の夏は連続32日間長雨が続き、植栽への水やりが不要でした。洗車時の節水は今後も心がけ行っています。
LPG	エアコンの設定温度 夏29℃ 冬23℃ クールビズ・ウォームビズを実施 ブラインド調整でエアコンの効率化	今年度は 目標未達成 冷暖房に関しては省エネへの意識に個人差があります。人の少ない就業時間外は極力エアコンを控え、不要不急の残業を減らす努力も必要かと思われまます。
灯油	始業前・休憩時間及び不在場所の暖房器具の消火。 暖房器具の適度な温度設定	冷え込む屋内での作業時も着衣の工夫で防寒し使用を控える努力がみられました。年末にかけて降雪量が多く、灯油を追加手配した為残念ながら 目標は未達成 となりました。
コピー用紙	社内文書両面印刷の推進 コピー用紙裏面再利用 グリーン商品(再生紙)の積極的購入 無駄印刷防止のポスター掲示	下半期より無駄印刷防止ポスターをプリンター周辺に掲示し視覚的に訴えました。取説の入替対応や研修資料作成で毎年消費枚数には波があります。今年度は 目標未達、昨年と同実績 となりました。

次年度以降の目標

	平成30年	平成31年	平成32年	次年度取組内容
電気(Kwh)	49,000	49,000	49,000	前年度の取組を継続
水道(m ³)	240	240	240	前年度の取組を継続
LPG(m ³ or kg選択)	2,100	2,100	2,100	前年度の取組を継続
灯油(ℓ)	2,100	2,100	2,100	前年度の取組を継続
コピー用紙(枚)	55,000	55,000	55,000	前年度の取組を継続

平成29年度				
項目	単位	目標	実績	割合(%)
電気	kwh	49,000	49,760	1.5
水道	m ³	260	203	-28.1
LPG	kg	1,900	2,412	21.2
灯油	ℓ	2,090	2,217	5.7
コピー用紙	枚	50,000	55,000	9.1

平成29年度 関東(営) 環境活動報告

作成日: 2017/12/23

作成者: 熊倉唯好

平成29年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	29年目標	28年実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	3,749	4,645	4,482	4,768	3,760	3,461	3,309	3,481	3,204	3,163	3,905	4,450	46,377	49,053	50,054	93
金額	75,612	89,047	88,155	94,105	82,004	78,089	77,252	82,648	78,210	76,019	85,176	93,439	999,756			
昨年使用実績	3,376	4,766	4,745	4,711	4,253	3,888	3,789	3,780	3,805	3,726	4,540	4,675	50,054			
水道(m ³)	39		39		39		42		37		65		261	232	237	110
金額	11,026		11,026		11,026		12,213		11,660		14,756		71,707			
昨年使用実績	38		46		38		39		34		42		237			
LPG(m ³ or kg選択)	336	493	398	203	17	91	284	323	238	130	126	400	3,039	3,439	3,509	87
金額	59,149	90,627	73,931	37,735	4,667	16,962	48,625	55,882	43,474	26,053	26,044		483,149			
昨年使用実績	331	637	626	226	15	29	191	329	450	72	168	435	3,509			
灯油(ℓ)	195	213									195	224	827	977	997	83
金額	15,167	17,253										16,800	49,220			
昨年使用実績	195	390	195									217	997			
コピー用紙 A3(枚)	126	57	61	82	89	115	128	45	135	138	75	100	1,151		1,708	67
コピー用紙 A4(枚)	2,830	2,484	2,431	2,159	2,227	3,344	2,883	1,680	3,336	1,862	4,826	2,967	33,029		34,353	96
コピー用紙 B4(枚)	24	96	68	44	141	45	63	39	26	69	80	33	728		1,068	68
コピー用紙 B5(枚)	549	665	792	407	459	453	407	358	330	315	488	336	5,559		6,378	87
コピー用紙計(枚)	3,529	3,302	3,352	2,692	2,916	3,957	3,481	2,122	3,827	2,384		3,436	40,467	42,637	43,507	93
昨年使用実績	3,332	2,909	3,225	3,600	3,691	5,291	5,257	2,204	2,433	3,934	4,267	3,364	43,507			
													二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	143,823	39,210	367

*排出係数: 0.518(東京電力 H28年)

平成28年度 取組んだ内容 及び 評価

	取組んだ内容	評価
電気	休憩時間・使用してない場所は、こまめに消す	所員全員が意識を持って行動出来た
水道	出しっぱなしの防止	無駄な水は使用禁止が出来た
LPG	エアコン設定温度/暖房19度・冷房29度	設定温度の厳守に努めた
灯油	暖房用灯油の節約	無駄のない暖房に努めた
コピー用紙	極力、裏紙を利用する	ある程度意識を持って再利用出来た

次年度以降の目標

	平成30年	平成31年	平成32年	次年度取組内容
電気(Kwh)	2%削減目標	1%削減目標	1%削減目標	休憩時間・使用してない場所は、こまめに消す
水道(m ³)	2%削減目標	2%削減目標	2%削減目標	出しっぱなしの防止
LPG(m ³ or kg選択)	2%削減目標	1%削減目標	1%削減目標	エアコン設定温度/暖房19度・冷房29度
灯油(ℓ)	2%削減目標	1%削減目標	1%削減目標	暖房用灯油の節約
コピー用紙	2%削減目標	2%削減目標	2%削減目標	極力、裏紙を利用する

平成29年度

項目	単位	目標	実績	割合(%)
電気	kwh	49,053	46,377	-5
水道	m ³	232	261	12
LPG	kg	3,439	3,039	-12
灯油	ℓ	977	827	-15
コピー用紙	枚	42,637	40,467	-5

平成29年度 長野営業所・物流センター 環境活動報告

作成日: H30/2/20
作成者: 赤木

平成29年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
電気(Kwh)	2,858	2,994	2,837	3,166	2,830	2,380	2,427	2,300	2,166	2,060	2,405	2,755	31,178	
金額	77,452	81,614	78,552	87,992	81,347	69,854	71,217	68,109	64,785	62,059	68,081	76,725	887,787	
前年比	93%	101%	97%	99%	105%	107%	105%	106%	98%	82%	93%	106%	99%	
水道(m)		104		151		67		64		97		114	597	
金額		37,206		54,737		23,867		22,790		34,637		19,538	192,775	
前年比		151%		256%		114%		60%		24%		44%	62%	
LPG(kg)	360	508	404	358	114	72	24	342	286	42	24	210	2,744	
金額	11,160	13,716	8,484	12,888	4,446	3,312	1,200	17,442	15,730	1,974	936	5,040	96,328	
前年比	120%	106%	96%	153%	300%	240%	20%	109%	118%	30%	92%	62%	102%	
灯油(ℓ)	2,490	3,141	2,318	995						992.0	1,876	4,367	16,179	
金額	172,123	217,126	160,220	68,774						79,256	127,746	25,553	850,798	
前年比	89%	109%	125%	242%	#DIV/0!	149%	149%							
*排出係数0.518(中部電力H28年)													二酸化炭素排出量(kg-CO2)	254,056
													前年実績	62,566

コピー用紙A3(枚)	0	0	0	0	0	1,500	0	0	0	0	0	0	1,500
前年比	#DIV/0!												
コピー用紙A4(枚)	10,000	17,500	0	0	12,500	7,500	27,500	7,500	7,500	12,500	12,500	15,000	130,000
前年比	#DIV/0!	140%	0%	0%	83%	38%	#DIV/0!	25%	75%	50%	#DIV/0!	100%	81%
コピー用紙B4(枚)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前年比	#DIV/0!												
コピー用紙B5(枚)	5,000	10,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,000
前年比	#DIV/0!	286%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0%	64%
コピー用紙A5(枚)	5,000	10,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,000
前年比	#DIV/0!	80%	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	#DIV/0!	0%	0%	30%

コピー用紙計(枚)	20,000	37,500	0	0	12,500	9,000	27,500	7,500	7,500	12,500	12,500	15,000	161,500
前年比	95%	278%	0%	0%	58%	38%	157%	52%	60%	45%	68%	115%	71%

平成29年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	必要の無い電気・電源のOFF	無駄な電気の使用は控えられている。今後も節電に取り組みたい。
水道	漏水チェック	漏水があり増加してしまった。発見が遅れないように今後も注意を怠らないようにしたい。
LPG	エアコン設定温度管理 ウォームピズ、クールピズの実施	エアコンの温度管理、こまめな電源のON、OFFにより使用量削減できた。
灯油	組替場等の温度管理	32.8%増加してしまった。ジェットヒーターの使用など、適切に使用しているか再度検討する。
コピー用紙	裏面再利用 必要部数のみ出力の徹底	裏紙再利用を徹底している。今後も使用量が減るように創意工夫を行っていく。

次年度以降の目標

	平成30年	平成31年	平成32年	次年度取組内容
電気(Kwh)	31000	30990	30980	必要の無い電気・電源のOFF
水道(m)	442	440	438	漏水チェック
LPG(kg)	2890	2885	2880	エアコン設定温度管理 ウォームピズ、クールピズの実施
灯油(ℓ)	10870	10870	10870	組替場等の温度管理
コピー用紙(枚)	225000	225000	225000	裏面再利用 必要部数のみ出力の徹底

平成29年度

項目	単位	目標	実績	割合(%)
電気	kwh	31,010	31,178	0.5
水道	m	444	597	25.6
LPG	kg	2,895	2,744	-5.5
灯油	ℓ	10,870	16,179	32.8
コピー用紙	枚	225,500	161,500	-39.6

平成29年度 岡山(営) 環境活動報告

作成日: 2018/3/9
作成者: 福井 恵美子

平成29年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
電気(Kwh)	905	856	824	795	780	760	1,051	1,055	908	713	866	979	10,492
金額	41,063	40,048	39,917	39,433	39,335	38,367	43,599	43,200	41,323	37,662	40,799	43,264	488,010
水道(m ³)	16		8		12		15		13		17		81
金額	3,024		2,376		2,700		2,943		2,781		3,105		16,929
LPG(m ³)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
金額	2,009	2,009	2,009	2,009	2,069	2,129	1,949	2,009	2,009	2,129	2,129	2,144	24,603
灯油(ℓ)	190	170	193								200	190	943
金額	15,580	13,940	15,826								18,689	18,367	82,402
コピー用紙 A4(枚)				1,000					1,000			1,500	3,500
コピー用紙 A5(枚)	5,000			7,500					7,500				20,000
コピー用紙 B4(枚)												1,000	1,000
コピー用紙 B5(枚)	2,500												2,500
コピー用紙 計(枚)	7,500	0	0	8,500	0	0	0	0	8,500	0	0	2,500	27,000
* 排出係数0.518(中国電力H28年)										二酸化炭素排出量(kg-CO₂)			123,737
										前年実績			11,425

平成29年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	社内、屋外の照明や電気器具のスイッチをこまめに切り、空調等も節電する。	電気の消し忘れや電気製品の切り忘れなどがある。声を掛け合って節電を心掛けます。
水道	節水に心掛ける。	機械の洗車等は多く使いますがそれ以外は節水できていると思います。引き続き節水を心掛けます。
LPG	ガスの使用頻度は低いのでこれからも無駄の無い様にする。	継続します。
灯油	こまめに温度調節等しながら、使用量を減らし	ストーブが容量の大きい物になったため灯油の使用量が多くなった。温度調節等、心掛けます。
コピー用紙	コピー機に常に裏紙をセットし、所内用は裏紙対応する。ペーパーレスを心掛ける。	下期に新製品が出たため価格表等コピーが増えた。引き続き裏紙を使用し節減を心掛けます。

次年度以降の目標

	平成30年	平成31年	平成32年	次年度取組内容
電気(Kwh)	9,500	9,400	9,300	取組を理解してもらい、一人節電の意識を高める。
水道(m ³)	90	88	86	実演機、社有車の洗車の効率を上げる。
LPG(kg)	4	4	4	月に使う回数が数回のため、極限に近いと思います。
灯油(ℓ)	570	550	540	エアコンを上手く利用しながらこまめに温度調整し減らしていく。
コピー用紙(枚)	21,000	20,000	19,000	引き続き裏紙を使用し、減らしていく。

平成29年度

項目	単位	目標	実績	割合(%)
電気	kwh	10,000	10,492	5
水道	m ³	92	81	-12
LPG	kg	4	3	-9
灯油	ℓ	600	943	57
コピー用紙	枚	22,000	27,000	23

平成29年度 九州営業所 環境活動報告

作成日: 2018/2/2

作成者: 福永

平成29年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	29年目標	28年実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	3,348	3,895	4,052	3,864	3,246	3,801	5,074	5,925	5,618	4,070	4,321	4,869	52,083	44,000	45661	114
金額	109,342	119,713	123,996	123,535	114,292	125,375	154,278	169,956	162,842	133,598	141,266	153,074	1,631,267			#DIV/0!
昨年使用実績	4,337	5,048	3,690	3,482	3,428	3,365	4,778	4,319	4,069	3,219	2,753	3,173	45,661			
水道(m)	25	27	21	20	26	51	29	46	42	45	44	63	439	300	298	147
金額	8,100	8,710	6,860	6,560	8,400	16,900	9,330	15,170	13,780	14,820	14,470	21,180	144,280			#DIV/0!
昨年使用実績	19	26	22	20	8	35	27	45	30	30	16	20	298			
LPG(m ³ or kg選択)	0.2	0.8	0.9	0.5	0.1	0.1	0.2	0.0					2.8	4.0	4.2	67
金額	1,950	2,320	2,380	2,200	1,900	1,900	1,950	1,840					16,440			#DIV/0!
昨年使用実績	0.5	1.2	1.0	0.7	0.5	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	4.2			
灯油(ℓ)	200	200	200									200	800	600	418	191
金額	15,800	15,800	14,800									16,800	63,200			#DIV/0!
昨年使用実績	200		18								200		418			
コピー用紙 計(kg)	50	40	20	40	20	50	40	10	68	20	50	40	451			#DIV/0!
コピー用紙A3(枚)									1,500				1,500		1000	150
コピー用紙A4(枚)	5,000	2,500	5,000	2,500	5,000	5,000	2,500	2,500	2,500	5,000	5,000	2,500	45,000		35000	129
※コピー用紙 A4(枚)	5,000	5,000		5,000		5,000	5,000		5,000		5,000	5,000	40,000		80000	50
コピー用紙B5(枚)									2,500				2,500		2500	100
コピー用紙 計(枚)	10,000	7,500	5,000	7,500	5,000	10,000	7,500	2,500	11,500	5,000	10,000	7,500	89,000	100,000	118500	75
昨年使用実績	13,000	5,000	7,500	7,500	12,500	12,500	12,500	15,000	10,000	10,000	10,000	3,000	118,500			
													二酸化炭素排出量(kg-CO₂)	165060	25085	658,002/18

※九州営業所では、A5サイズを多く使用しますので、B4の欄をA5で入力しています。B4は使用していません。

*排出係数: 0.519 (九州電力H28年)

平成29年度 取組んだ内容及び 評価

	取組んだ内容	評価
電気	必要でない所の電気は消す。	まだ個人個人が意識して消す必要あり
水道	使用後は、締める。	締めわすれはない。
LPG	新事務所に変わり現在使用無し	
灯油	使用していないストーブの火は消す。	各自意識して行っている。
コピー用紙	裏紙を使用	各自行っている。

次年度以降の目標

	平成30年	平成31年	平成32年	次年度取組内容
電気(Kwh)	50,000	50,000	50,000	使用しない所の消灯に努める。
水道(m ³)	350	350	350	使用後はすぐに締める。
LPG (m ³ or kg選択)				
灯油(ℓ)	180,000	180,000	180,000	必要でないときは消す。
コピー用紙 (枚)	90,000	90,000	90,000	裏紙使用

平成29年度

項目	単位	目標	実績	割合(%)
電気	kwh	44,000	52,083	118
水道	m ³	300	439	146
LPG	m ³	4	3	-75
灯油	ℓ	600	800	133
コピー用紙	枚	100,000	89,000	89

平成29年度 南九州出張所 環境活動報告

作成日: 2018/7/31
 作成者: 南九州出張所 高木忠孝

平成29年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	29年目標	28年実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	1,973	1,951	1,679	1,228	1,188	1,308	2,144	2,569	1,776	1,243	1,448	2,022	20,529	16,700	19120	107
金額	64,378	64,182	60,785	53,664	53,871	55,994	71,993	80,603	65,224	54,057	58,315	68,032	751,098			#DIV/0!
昨年使用実績	2,121	1,911	1,554	1,011	1,188	1,381	1,782	2,174	1,842	1,435	1,306	1,415	19,120			
水道(m ³)		24		18		24		30		30		20	146	170	166	88
金額		9,687		8,205		9,687		11,332		11,332		8,589	58,832			#DIV/0!
昨年使用実績		24		24		22		24		23		49	166			
LPG(m ³ or kg選択)	1.0	0.6	0.6	0.4	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.5	3.9	2.4	2.7	144
金額	2,622	2,405	2,407	2,167	2,109	2,164	2,107	2,107	2,109	2,111	2,112	2,358	26,778			#DIV/0!
昨年使用実績	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.3	0.1	0.3	1.4			
灯油(ℓ)	65	40										40	145	90	121	120
金額	5,265	3,499										3,480	12,244			#DIV/0!
昨年使用実績													0			
コピー用紙計(kg)	31	0	20	0	0	0	20	0	50	0	0	20	143			#DIV/0!
コピー用紙A3(枚)	500												500		0	#DIV/0!
コピー用紙A4(枚)	6,000		5,000				5,000		5,000			5,000	26,000		10000	260
コピー用紙A5(枚)									5,000				5,000		0	#DIV/0!
コピー用紙B5(枚)													0		0	#DIV/0!
コピー用紙計(枚)	6,500	0	5,000	0	0	0	5,000	0	10,000	0	0	5,000	31,500	20,000	0	#DIV/0!
昨年使用実績				2,500				3,000	2,500			2,500				
二酸化炭素排出量(kg-CO₂)													102,400	14,720	696	

*排出係数: 0.518 (九州電力H28年)

平成29年度 取組んだ内容 及び 評価

	取組んだ内容	評価
電気	必要のない場所での電源OFF	営業担当デスクの照明OFF
水道	洗車時の無駄水の削減	高圧洗車機との併用
LPG	使用減	ガス利用自体使用減
灯油	工場使用時間の短縮 事務所内、エアコンとの併用	朝、夕の寒冷時 休憩時の使用 作業中での使用減
コピー用紙	無駄な印刷の減 裏紙使用	裏紙での使用を増する

次年度以降の目標

	平成30年	平成31年	平成32年	次年度取組内容
電気(Kwh)	16,650	16,600	16,550	継続的な取り組み
水道(m ³)	168	168	165	継続的な取り組み
LPG (m ³ or kg選択)	2.2	2.0	2.0	継続的な取り組み
灯油(ℓ)	85	85	85	継続的な取り組み
コピー用紙 (枚)	180,000	180,000	180,000	継続的な取り組み

平成29年度

項目	単位	目標	実績	割合(%)
電気	kwh	16,700	20,529	22.9%
水道	m ³	170	146	-14.1%
LPG	kg	2.4	3.9	62.5%
灯油	ℓ	90	145	61.1%
コピー用紙	枚	20,000	31,500	57.5%

代表者による全体の評価

当社の環境に対する取組は、「紙・ゴミ・電気」に代表される環境負荷の削減を主に行ってきました。毎年活動をしていくと当然、削減量は一定のラインで限界が出てきます。ここ数年、当社はそのラインにある程度達していると判断した負荷項目については、使用量維持を目標としてきました。もちろん維持も簡単な事ではありませんが、どうしても活動が限定的なものになってしまうという印象があります。そのような状況の中、E A21 ガイドラインが改訂され 2017 年度版からは経営を意識した、言い換えれば本業を通じた環境活動が求められるようになります。

製造業の当社にとって本業を通じた取組というと最新の生産設備等、費用が掛かり簡単には出来ないイメージがあるかもしれません。しかし、費用をかけずに出来る事はたくさんあるはずです。これまでも皆でアイデアを出し合って活動を行ってきました。

ガイドラインの改訂に表されるように社会経済システムの大転換が始まり当社に限らず、環境活動が過渡期にきています。これを良い機会として捉え、新しい時代に応じた環境経営を推進する活動を目指していきます。